

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成18年度	根拠法令・例規等	備前市児童生徒医療費助成に関する条例
総合計画	大項目	基本構想	01 重点政策「教育」	問	担当課(室)
	中項目	基本計画	01 将来を担う人材が育つまち	合	職・氏名
	小項目	施策	04 子育て不安の解消	先	電話
事務事業名		12	児童生徒医療費助成事業	このシート作成に要した時間 1.5 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内在住の児童・生徒の保護者	
目的(何のために)	児童・生徒に係る医療費の一部を助成することで保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の向上に資する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	義務教育中の児童・生徒を持つ保護者の経済的な負担を軽減することで子育て支援の向上と、医療機関への受診機会の確保による健康増進と福祉の向上	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
児童生徒医療費助成事業	通院により病院等の窓口で支払った保険診療での自己負担額のうち、1人につき月額2,000円を超えた部分を保護者に助成する。	◎
目的を達成するため実施した事業		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	11,986	10,978	506
	必要人員	人	0.52人	3.091	0.25人
	必要人員	人	3.091	1.566	0.06人
財源	事業費	千円	15,077	12,544	862
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	その他( )				
一般財源	千円	15,077	12,544	862	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	医療費支給件数	説明	1件当たり単価		
	結果指標量		3,451	3,231	506
	対前年比	%	113.6	93.6%	15.7%
	活動コスト	円	15,077,000	12,544,000	500
単位当たりコスト	円	4,369	3,882	1	

事業の成果 (平成25年度事業)						
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
受給回数(受給資格者1人当たり)	目標値(A)	1	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績値(B)	1.2	1.2	1.2	1.2	到達目標値
	達成率(B/A)	120.00%	120.00%	120.00%	120.00%	1.0
成果指標設定の考え方・式や説明						
医療費支給件数/受給資格者数 制度を周知し、対象となる保護者への給付に努める必要があることから給付率を指標としている。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	手段	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	平成24年度10月から小児医療費助成事業の対象となったことから事業は見直しとなるが、平成24年9月診療分までの申請について助成する必要がある。						

総合評価		総合評価
制度は定着してきている傾向があり給付件数は増加してきているが、受給対象者は減少傾向である。保護者の経済的負担は軽減できていると思われる。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	平成24年9月診療分までの申請について助成を行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな